

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 01-195753

(43)Date of publication of application : 07.08.1989

(51)Int.Cl.

H04N 1/00  
H04N 1/387

(21)Application number : 63-020923

(71)Applicant : NIPPON TELEGR &amp; TELEPH CORP &lt;NTT&gt;

(22)Date of filing : 29.01.1988

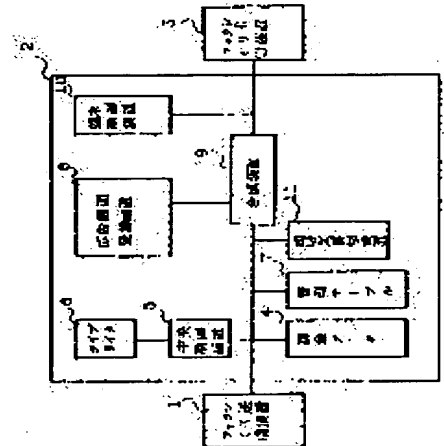
(72)Inventor : HOSOE TAKUJI  
KAWADE TAKASHI

## (54) FACSIMILE COMMUNICATION SYSTEM WITH ADVERTISEMENT

## (57)Abstract:

**PURPOSE:** To simplify the attachment of an advertising picture by outputting the advertising picture read out in prescribed sequence in advance from an advertising picture registration device to an addressed facsimile incoming device after attaching on a facsimile communication text at a synthesizer.

**CONSTITUTION:** In case of transmitting a communication text from the facsimile transmitter 1 of a general subscriber to a facsimile incoming device 3 via a communication network 2, a central control unit 5 makes access to the advertising picture registration device 8, and reads out the advertising picture in sequence regulated in advance from the advertising picture registration device 8. And by starting up a terminal control unit 10 after the advertising picture being attached on the communication text at the synthesizer 9, it is outputted to the addressed facsimile incoming device 3. In such a way, it is possible to confirm a registered advertising picture in advance, and to designate the advertising picture to be attached on the communication text to the communication network.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the  
examiner's decision of rejection or application  
converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of  
rejection][Date of requesting appeal against examiner's decision  
of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 特 許 公 報 (B 2)

(11) 特許出願公告番号

特公平7-105853

(24) (44) 公告日 平成7年(1995)11月13日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup>

H 0 4 N 1/00

識別記号

B

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

請求項の数3(全 9 頁)

(21) 出願番号 特願昭63-20923  
(22) 出願日 昭和63年(1988) 1 月29日  
(65) 公開番号 特開平1-195753  
(43) 公開日 平成1年(1989) 8 月7 日

(71) 出願人 999999999  
日本電信電話株式会社  
東京都千代田区内幸町1丁目1番6号  
(72) 発明者 細江 拓治  
東京都千代田区内幸町1丁目1番6号 日  
本電信電話株式会社内  
(72) 発明者 川出 隆司  
東京都千代田区内幸町1丁目1番6号 日  
本電信電話株式会社内  
(74) 代理人 弁理士 磯村 雅俊

審査官 田村 征一

(56) 参考文献 特開 昭58-205366 (J P, A)

(54) 【発明の名称】 広告付ファクシミリ通信方法

1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 通信網に、広告画面の登録を依頼した広告主の加入者番号を登録し管理するための登録加入者番号管理テーブルと、該登録加入者番号管理テーブルに登録された加入者からの広告画面を通信網に登録・格納するための広告画面登録装置と、該広告画面登録装置から読み出された広告画面を送信される通信文に付与するための合成装置と、一般加入者対応の広告画面付与時の割引き登録用課金メータとを具備し、一般加入者のファクシミリ送信装置から送られてきたファクシミリ通信文に、上記広告画面登録装置から予め定められた順序で読み出した広告画面を上記合成装置で付与し、宛先のファクシミリ着信装置に出力するようにした広告付ファクシミリ通信方法であって、一般加入者により通信文の送信に先立ちファクシミリ送

2

信装置から通信文に広告画面を付与するか否かが指定されると、当該通信文の通信終了後、広告画面の付与が指定された通信文に対して、該通信文を送信した一般加入者に対応する前記割引き登録用課金メータへの料金登録時に割引き登録を行うことを特徴とする広告付ファクシミリ通信方法。

【請求項2】 特許請求の範囲第1項記載の広告付ファクシミリ通信方法において、上記通信網に、上記登録加入者番号管理テーブルに登録された加入者対応に広告付加料金メータをさらに設け、登録された広告画面を通信文に付与する度に、上記広告付加料金メータに規定の料金を加算することを特徴とする広告付ファクシミリ通信方法。

【請求項3】 特許請求の範囲第1項または第2項記載の広告付ファクシミリ通信方法において、上記通信網で

は、上記広告画面登録装置に登録された広告画面ごとに番号または記号のいずれかを付与し、該番号または記号を広告画面の内容とともに該通信網を利用する一般加入者に通知するとともに、一般加入者により通信文の送信に先立ちファクシミリ送信装置から通信文に付与する広告画面を上記番号または記号で指定されると、該指定された広告画面を該ファクシミリ送信装置から送られてきた通信文に付与することを特徴とする広告付ファクシミリ通信方法。

#### 【発明の詳細な説明】

##### 〔産業上の利用分野〕

本発明は、広告付ファクシミリ通信方法に関し、詳しくは、ファクシミリ通信文に広告画面を付加して着信装置に送信するファクシミリ通信方法に関するものである。

##### 〔従来の技術〕

ファクシミリ通信は、紙面に書かれた文章や図面等の送信画面を走査して電送し、着信側では、送信側と同期をとりながら順次画面を組み立てて、原画と相似のものを記録紙に再現するための通信である。ファクシミリ通信の変調方式としては、通常は振幅変調（AM）が、また雑音やレベル変動の多い回線では周波数変調（FM）や周波数偏（FS）が、それぞれ用いられている。さらに、広帯域の伝送回線を用いて高速化を図ると、回線コストが高くなるため、帯域圧縮技術により狭帯域回線を使用してファクシミリ通信の高速化を図っている。

ところで、ファクシミリ通信では、送信装置と着信装置間の通信確立や、通信終了のための制御手順を実行する制御信号送受信時間が必要である上に、通信文自体の送信時間が長いため、全体の通信時間が大きくなり、それに伴って通信料金も高くなるという問題がある。

なお、ファクシミリ通信については、例えば、『ファクシミリとその応用』（窪田著、（株）産報発行、1973. 3. 20）に記載されている。

##### 〔発明が解決しようとする課題〕

このような問題に対処するため、最近、ファクシミリを広告媒体として利用する試みが行われている。すなわち、トラヒックの伸びが著しいファクシミリに広告画面を付加して伝送すれば、一般加入者にとって通信コストを実質的に下げることができ、利用者も益々多くなることが期待できる。

第2図は、従来、提案されている広告付ファクシミリ通信システムの系統図である。

第2図において、1は広告付ファクシミリを送信するファクシミリ送信装置、2はファクシミリを伝送するための電話交換網等の通信網、3はファクシミリを受信するファクシミリ着信装置、4はファクシミリ送信装置1の加入者社番号に対応する課金メータである。

先ず、通常のファクシミリ送信と同じように、ファクシミリ送信装置1に送信原稿をセットして宛先のファクシミリ着信装置3に送信する。従来と異なるのは、セット

される通信文に広告画面が貼付されていることである。この広告付通信文は、そのまま通信網2を介して伝送され、ファクシミリ着信装置3に出力される。この場合、広告主は、直接的あるいは間接的に、この広告を送信した加入者に対して謝礼をすることにより、一般加入者から見て通信コストが下がることになる。

しかし、ここで問題となるのは、通信網は通信コストの低下とは関係なく、従来の通り課金メータ4で登算された料金を加入者に請求するので、広告主は通信網とは関係なく、直接加入者に謝礼を渡す必要がある。また、広告付ファクシミリ通信方式では、一般加入者が通信文に広告画面を貼付しなければならないという不便さがある。

すなわち、広告画面の付与に通信網が全く関与せず、ファクシミリ送信装置1の加入者番号に対応する課金メータ4に対して割引き登算が行われることはないので、広告主は広告を通信文に付加してくれる加入者に対して、広告画面を予め郵送する必要があった。さらに、広告主は、予めあるいは事後に、その加入者に対して別途謝礼金を振込みあるいは郵送する等の手数を要していた。その結果、ファクシミリ通信文に他社の広告を貼付した場合には、広告画面の貼付や謝礼金の受取り等に手数がかかるため、殆んど普及せず、広告の内容は自社のものに限られていた。従って、予想に反して、広告付ファクシミリ通信方法は、殆んど使用されていないのが実状であって、広告主や送信加入者に手数のかからない広告付ファクシミリ通信方法が望まれていた。

本発明の目的は、このような従来の課題を解決し、広告主にとって広告画面の依頼が簡単にでき、一般加入者にとって通信文に広告画面の貼付が簡単にでき、かつ経済的な利点が大い広告付ファクシミリ通信方法を提供することにある。

##### 〔課題を解決するための手段〕

上記目的を達成するため、本発明の広告付ファクシミリ通信方法は、通信網（図1の2）に、広告画面の登録を依頼した広告主の加入者番号を登録し管理するための登録加入者番号管理テーブル（同7）と、該登録加入者番号管理テーブル（同7）に登録された加入者からの広告画面を通信網に登録・格納するための広告画面登録装置（同8）と、該広告画面登録装置（同8）から読み出された広告画面を送信される通信文に付与するための合成装置（同9）と、一般加入者対応の広告画面付与時の割引き登算用課金メータ（同4）とを具備し、一般加入者のファクシミリ送信装置（同1）から送られてきたファクシミリ通信文に、上記広告画面登録装置（同8）から予め定められた順序で読み出した広告画面を上記合成装置（同9）で付与し、宛先のファクシミリ着信装置（同3）に出力するようにした広告付ファクシミリ通信方法であって、一般加入者により通信文の送信に先立ちファクシミリ送信

10

20

30

40

50

装置（同1）から通信文に広告画面を付与するか否かが指定されると、当該通信文の通信終了後、広告画面の付与が指定された通信文に対して、該通信文を送信した一般加入者に対応する割引き登算用課金メータ（同4）への料金登算時に割引き登算を行うようにしたことを特徴としている。

また、通信網に、登録加入者番号管理テーブルに登録された加入者対応に広告付加料金メータ（図4の12）をさらに設け、登録された広告画面を通信文に付与する度に、広告付加料金メータ（同12）に規定の料金を加算することを特徴としている。

さらに、通信網では、広告画面登録装置（同8）に登録された広告画面ごとに番号または記号のいずれかを付与し、該番号または記号を広告画面の内容とともに該通信網を利用する一般加入者に通知（図5参照）するとともに、一般加入者により通信文の送信に先立ちファクシミリ送信装置（図4の1）から通信文に付与する広告画面を上記番号または記号で指定されると、該指定された広告画面を該ファクシミリ送信装置（同1）から送られてきた通信文に付与するようにしたことを特徴としている。

#### 〔作用〕

本発明においては、通信網が広告主と一般加入者との間で、広告画面の貼付と謝礼金の受け渡しを行うことにより、広告付加の依頼と謝礼金の受け渡しの手数を省き、かつ課金メータの割引き登算も可能にしている。すなわち、（1）通信網は、予め、広告画面を通信文に付加することを依頼した広告主である加入者を通信網内に登録しておくとともに、登録した加入者から付与すべき広告画面を受け取り、これらをそれぞれ登録しておき、一般加入者が通常のファクシミリ通信文を送信したとき、通信網において、この通信文に登録されてある広告画面を予め定められた順序で取り出して、これを付与した後、宛先のファクシミリ着信装置に送信する。

本発明では、その場合、一般加入者が、登録されている広告画面を貼付して送るか、あるいは貼付せずに送るかを自由に選択できるようにするとともに、広告画面を付与した通信文に対して、課金メータが割引き登算するようにしている。

（2）また、広告の付与を依頼した広告主の加入者を登録するとともに、それらの加入者番号対応に課金メータを接続しておき、その広告主の広告画面が送信完了するごとに、広告付の料金を加算して登算する。

（3）さらに、通信網は、登録された広告画面ごとに番号を付与して、それらを一般加入者に広告画面の内容とともに一欄で通知し、各加入者端末から送信に先立って付与された番号を通信網に送ることにより、付与する広告画面を自由に指定できるようにし、通信網は指定された広告を送られてきた通信文に貼付して着信側に送信する。

#### 〔実施例〕

以下、本発明の実施例を、図面により詳細に説明する。第1図は、本発明の第1の実施例を示す広告付ファクシミリ通信システムの系統図である。

第1図において、5は通信網2内に設けられた中央制御装置、6は中央制御装置5に接続されたタイプライタ、7は一般加入者のうち、広告画面を付与して通信文を送信することを依頼した広告主の加入者を登録するための広告画面登録許容者番号管理テーブル、8は各登録加入者ごとに貼付すべき広告画面を登録するための広告画面登録装置、9は通信文と広告画面とを合成するための合成装置、10はファクシミリ着信装置3との間で通信制御手順を行い、通信文と広告画面を送出するための端末制御装置、11は通信文を一旦蓄積するための通信文蓄積装置である。4は第2図と同じ加入者対応の課金メータである。これらの装置は、通信網2内の特定の交換局だけに設置されてもよく、また複数の交換局に設置されてもよい。

通信網2における中央制御装置5は、ファクシミリ送信装置1の加入者から広告付与の申し込みがあると、これを扱者に接続することにより、扱者はその加入者の番号を聞き、扱者がタイプライタ6から入力することにより、通信網に広告画面を登録することを許容した加入者番号を広告画面登録許容者番号管理テーブル7に登録する。広告画面登録を許容された加入者は、ファクシミリ送信装置1から通信網2に対して、広告画面の登録を行う。広告画面の登録は、許容加入者の登録申し込みと同時に、また別個の申し込みでもよい。通信網2は、広告画面の登録申し込みがあると、中央制御装置5により広告画面登録許容者番号管理テーブル7に当該加入者番号が登録されていることを確認して、登録されていれば、申し込みを受け付け、送信装置1から送信された広告画面を広告画面登録装置8に登録する。広告画面登録許容者番号管理テーブル7に登録されていない加入者が、広告画面の登録を申し込んできたときには、中央制御装置5は扱者または音声応答装置に接続し、これら扱者等から登録を拒否し、広告画面登録許容加入者の登録を催促する。

次に、一般加入者のファクシミリ送信装置1から通信網2を経由して通信文がファクシミリ着信装置3に送信される場合、中央制御装置5は、広告画面登録装置8をアクセスして、この広告画面登録装置8から予め定められた順序で広告画面を読み出し、合成装置9においてその広告画面を通信文に付加した後、端末制御装置10を起動することにより、宛先のファクシミリ着信装置3に送出する。このとき、ファクシミリ着信装置3と通信網2との間の制御手順による制御信号送受信は、端末制御装置10が行う。

第3図は、第1図における通信網とファクシミリ着信装置間の信号の流れを示す図である。

第3図(a)は、広告画面を付与しない場合の信号の流れであり、第3図(b)は、広告画面を付与した場合の信号の流れである。いずれの場合にも、通信文を送信する前に、両装置間の通信を確立するための制御信号を送信した後、通信文または通信文と広告画面を送信し、その後通信終了の制御信号を送信する。

第3図(a)(b)から明らかなように、本実施例では、(b)のように広告画面を通信文に付与するため、通信網に回線交換機が用いられている場合、ファクシミリ送信装置1とファクシミリ着信装置3との間で、少なくとも通信終了のための制御信号送受信がタイミング的に困難となる。そこで、本実施例では、端末制御装置10にファクシミリ送信装置1を代行させるようにしている。すなわち、通信文を蓄積せずに直接伝送する回線交換型ファクシミリ通信システムの場合には、通常、端末制御装置10は不要であるが、本発明においては、特別にこの装置10を設置することにより、制御信号送受信のタイミングをとっている。

一方、蓄積交換型ファクシミリ通信システムに適用した場合には、通信文蓄積装置11に通信文を一旦蓄積することにより、タイミングの調節が容易となる。すなわち、この場合には、ファクシミリ送信装置1からの通信文を先ず通信文蓄積装置11に蓄積した後、中央制御装置5により広告画面登録装置8内から読み出した広告画面と、通信文蓄積装置11から読み出した通信文とを合成装置9に入力し、合成装置9において広告画面を通信文に付加して、端末制御装置10にファクシミリ着信装置3との間の通信確立のための制御信号送受信および通信終了のための制御信号送受信を担当させることによって、ファクシミリ着信装置3に広告画面付通信文を出力する。

通信網2は、広告主に広告画面の付加料金を請求するとともに、登録加入者の通信料金はその分だけ割引きする必要がある。通信料金の割引きについては、種々の方法があり、例えば、ファクシミリ送信装置1の加入者番号に対応する課金メータ4への登録において、登録ごとに一定料金を割引く方法、あるいは、課金メータ4への登録は従来のまま行い、加入者への請求時に一括して割引く方法等がある。

なお、合成装置9において、通信文に広告画面を付与する具体的方法としては、広告画面をコンパクトに作成し、通信文の末尾に付加する方法が有効である。また、本願と同日出願で提案された『付加情報付ファクシミリ通信方式』（発明者：細江，川出）の明細書に記載されている技術を用いれば、通信文のサイズを増加させることなく、広告画面を付与することが可能となる。すなわち、上記出願の明細書には、ファクシミリ送信装置1からの通信文を縮小して、その余白部分に付加情報を付与する方法が記載されており、この方法を利用すれば、広告画面を効率的かつ経済的に通信文に付与することができる。

次に、本発明の第1実施例の特徴とする動作を説明する。上述したものにおいては、一般加入者が好むと好まざるとに係わらず、その加入者が送信する全ての通信文に登録されている広告画面のいずれかが付与されるという問題が生じる。一般加入者が広告画面を付与したい通信文に対してのみ通信網においてこれを付与することが望ましく、第1の実施例では、上記課題を解決している。

第1の実施例においては、加入者がファクシミリ送信装置1から通信文を投入する際に、その通信文に対して広告画面を付与するか否かを指定することにより、通信網2側ではそれによって制御を行う。この指定方法としては、(イ)ダイヤルによる指定、(ロ)マークシートにより指定、等がある。すなわち、(イ)の方法では、送信加入者が着信装置3の宛先番号とともに、広告画面を付与するか否かを指定する番号(例えば、1が付与する、0が付与しない、)をダイヤルすることにより、通信文を投入する。また(ロ)の方法では、着信装置3の宛先番号をダイヤルする前に、通信文をセットするが、その通信文の最初に広告画面を付与するか否かを指定するマークシートをセットしておくことにより、通信網2でそのマークを読み取り判断する。

通信網2の中央制御装置5は、この指定に基づいて、通信文へ広告画面を付与するか否かを決定する。この方法を用いる場合には、ファクシミリ送信装置1の加入者番号に対応する課金メータ4への通信終了後の料金登録において、登録ごとに割引く方法を通常の登録に併用することにより、広告画面の付与による経済的効果が上がる。すなわち、広告を付与した通信文は通信料金が割引かれる一方、広告を付与しない通信文は規定の通信料金が登録されるため、広告付ファクシミリ通信の効果がより強調されることになる。

第4図は、本発明の第2の実施例を示す広告付きファクシミリ通信システムの系統図である。

第4図において、第1図の第1の実施例と異なる点は、広告画面登録許容者番号管理テーブル7に広告付加料金メータ12を接続したことである。

広告付ファクシミリ通信方法においては、広告主にとって、登録した広告の付与頻度にかかわらず、一定の広告登録料を通信網2に支払う必要がある。第3の実施例では、この課題を解決しており、そのために広告画面登録許容者番号管理テーブル7に広告付加メータ12を接続している。この広告付加メータ12は、通信網2への広告画面の登録を許容した加入者番号対応に設けられる。通信網2は、登録を許容した加入者に対して一定の広告画面登録料を加算するとともに、広告を通信文に付与した通信が成立する度に、広告付加料金メータに規定の料金を加算する。このようにすれば、広告主にとって、広告の付与頻度に応じて通信網に料金を支払えばよいので、合理的であり、効果にみあった投資が可能となる。

第5図は、本発明の第3の実施例であるファクシミリ着信装置に出力される広告画面一欄の図である。

第4図で説明した第2の実施例による広告付ファクシミリ通信方式では、一般加入者にとって通信文に付与される広告画面を選択することができない。また、一般加入者は、広告画面登録装置8内にどのような広告画面が登録されているのか不明である。一般加入者としては、登録されている広告画面の中から好ましい広告画面を選択して、これを通信文に付与したいのは当然である。

このような課題を解決するために、第3の実施例では、通信網2に登録されている広告画面の一欄を、通信網2から各加入者に送信することにより、一般加入者に登録された全広告画面を知らせる。すなわち、一般加入者から通信網2に対して、ダイヤル番号またはマークシート上の指定等により広告画面の一欄出力の要求を行う。通信網2の中央制御装置5は、この要求を受信すると、広告画面登録装置8に登録済の広告画面を読み出して、要求のあったファクシミリ送信装置1に出力する。送信装置1は受信機能をも備えているため、これを受信して加入者に出力する。

出力例としては、第5図に示すように、要求月日と、その時点で登録されている広告画面番号と広告画面が続けて出力される。

一般加入者は、この広告画面を見て、通信文を付与する広告画面を選択し、通信文の送信の前に、ダイヤル番号またはマークシート上の広告画面番号を指定し、通信網2に指示する。通信網2においては、その指示された番号により、当該画面を広告画面登録装置8から選択して読み出した後、合成装置9において通信文に付与して、ファクシミリ着信装置3に出力する。なお、広告画面番号は、番号数字の代りにアルファベット等の記号であってもよい。

第6図は、本発明におけるマークシートによるサービス指定例を示す図、第7図は本発明におけるダイヤル番号による各種サービスの実施方法を示す図である。

ダイヤル番号によって各種のサービスを受けるための指定方法を、第7図により説明する。まず、ダイヤル番号による指定では、現在のサービス種類の中のFネットサービスの番号体系に準拠すれば、第7図のようなダイヤル番号指定方法が考えられる。すなわち、例えば、162でファクシミリ通信網を指定し、#401で広告画面付与サービス指定番号を指定し、\*の区切り符号を挿入し、#231で付与希望の広告画面番号を指定し、0468591111

#で宛先番号を指定する。宛先番号は、0468 (59) 1111の市外番号と市内番号を連続してダイヤルする。

また、マークシートによる指定方法としては、現在、Fネットで使用しているマークシートを例にとれば、マークシートの第1行をシステム領域として規定し、この部分を通信網への各種サービス指定に使用していることから、例えば第6図に示すように指定する。すなわち、最初の4桁で広告画面付与サービス指定番号を指定し、次の3桁で付与希望の広告画面番号を指定し、次の9～10桁でファクシミリ着信装置3の宛先番号を指定する。

このように、本発明においては、登録されている広告画面を事前に確認し、通信文に付与する広告画面を通信網に指定することができる。また、通信料金の割引は通信網内の課金メータ登算時に実施することができるので、一般加入者にとって、便利で経済的で効率的な広告付ファクシミリ通信が可能となる。その結果、ファクシミリ通信の普及と発展に役立つことになる。

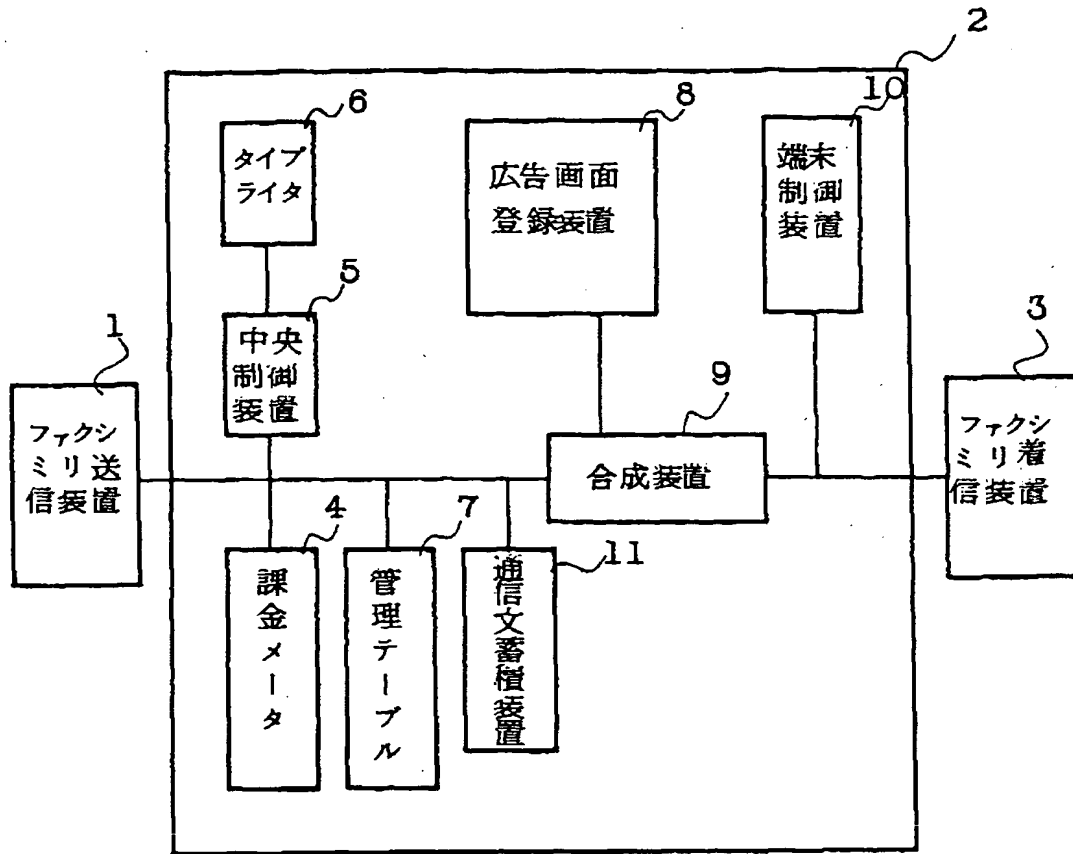
#### 【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、通信網に広告画面を登録するため、広告主にとっても、また一般加入者にとっても、利用し易いシステムとなり、また広告画面を付与するか否かを指定することができるため、一般加入者にとって融通性の高い広告付ファクシミリ通信方法を実現できる。また、広告画面の使用頻度に応じて広告料金メータを登算することが可能であるため、広告主にとって合理的であり、一般加入者にとっても経済的利点がある。

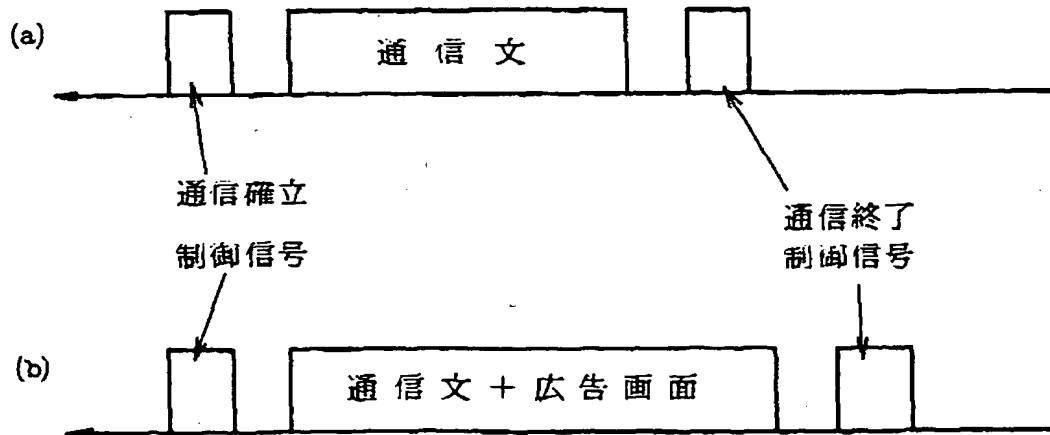
#### 【図面の簡単な説明】

第1図は本発明の第1の実施例を示す広告付ファクシミリ通信方法の系統図、第2図は従来の広告付ファクシミリ通信方法の系統図、第3図は第1図における通信網とファクシミリ着信装置間の信号の流れを示す図、第4図は本発明の第2の実施例を示す広告付ファクシミリ通信方法の系統図、第5図は本発明の第3の実施例を示す広告画面一欄の出力図、第6図は本発明におけるマークシートによるサービス指定例を示す図、第7図は本発明におけるダイヤルによるサービス指定例を示す図である。  
1:ファクシミリ送信装置、2:通信網、3:ファクシミリ着信装置、4:課金メータ、5:中央制御装置、6:タイプライタ、7:広告画面登録許可番号管理テーブル、8:広告画面登録装置、9:合成装置、10:端末制御装置、11:通信文蓄積装置、12:広告付加料金メータ。

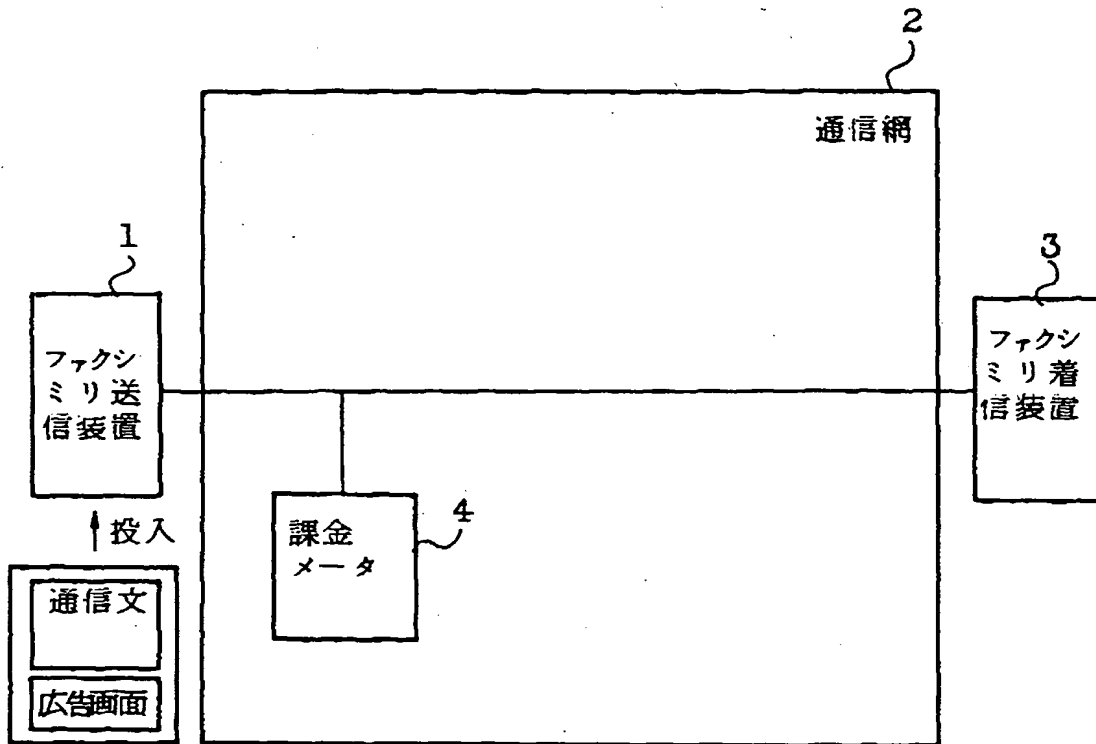
【第1図】



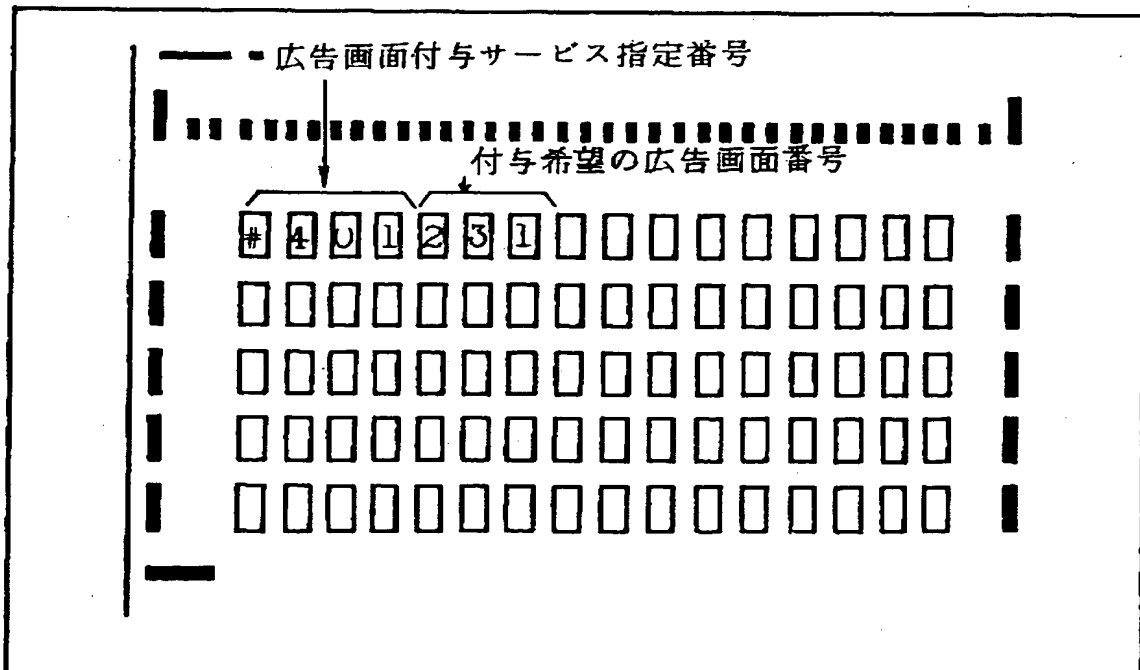
【第3図】



【第2図】

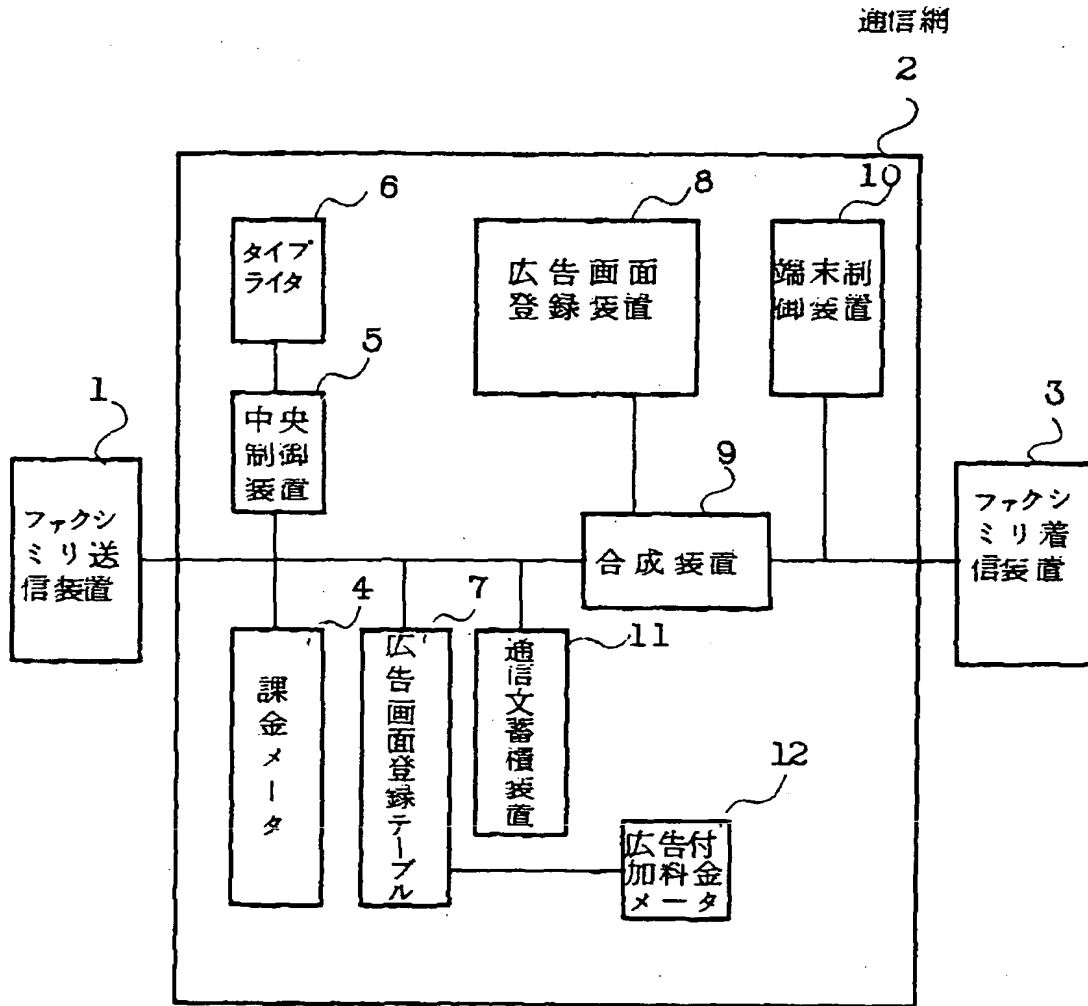


【第6図】

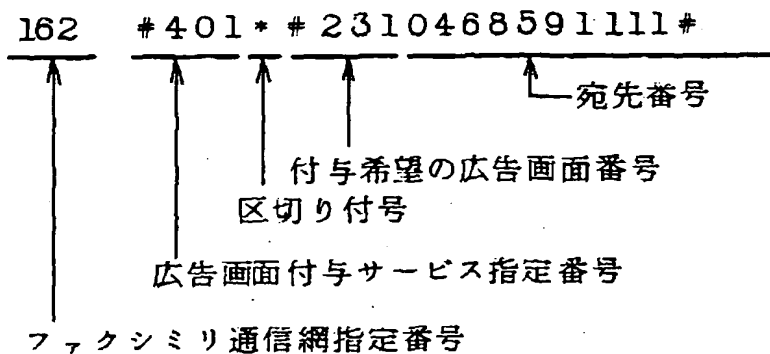




【第4図】



【第7図】



【第5図】

広告画面一覧	
	XX月XX日
NO.01	<div>広告画面</div>
NO.02	<div>広告画面</div>
NO.03	<div>広告画面</div>
NO.04	<div>広告画面</div>